[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 20年 2月 6日

1. 第三者評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2874100536			
法人名 特定非営利活動法人 日本地域福祉協会			域福祉協会	
事業所名	街かどケアホームももか			
所在地	兵庫県揖保郡太子町下阿僧15-1			
7/111276		(電 訂	舌)079-275-0755	
評価機関名	特定非営利活動	协法人 福祉市民	ネット・川西	
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104			
訪問調査日	平成19年12月10日	評価確定日	2008年2月6日	
			•	

【情報提供票より 2007年10月1日 事業所記入 】

(1)組織概要

開設年月日	平成 14 年 3 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計	18	人
職員数	11 人 常勤10人,非常勤	1 人,	常勤換算10人

(2)建物概要

҈≉₩⋒₩₩	鉄筋コンクリート	造り		
建物 構 直	2 階建ての	1 ~ 2	階部分	

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月	額)	60,	000	円	その他の	経費(月額)	35,	,000	円
敷 3	金		無						
保証金の有類 (入居一時金額		有(300000	円)	有りの場 償却の有			有	
食材料費		朝食			円	昼食			円
		夕食			円	おやつ			円
		または1	日当たり	1,0	000	円			

(4)利用者の概要(2007年10月1日

利用者人	人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1		3		要介護 2	10	
要介護3	3	3		要介護 4	2	
要介護5	5	0		要支援 2	0	
年齢	平均	81.2 歳	最低	63 歳	最高	93 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名 二ノ丸内科、 岩崎歯科医院	
-----------------------	--

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・ホームは利用者主体の理念に基づいて、利用者の意思を尊重し、一人ひとりのペースを大切にして、自分や自分の親が住みたいと思うホームを目指している。職員には採用時に必ず理念の研修を行い、理解、納得を確認している。所属する法人グループと連携をとり質の向上に心がけている。地域性から認知症の理解が地域に受け入れられているとはいいがたいが、職員が近隣のごみ拾いをしたり、事業所を地域の人々の憩いの場に提供する等地域密着型サービスとしてのグループホームのあり方を工夫している。

【重点項目への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)

・書類関係として栄養摂取量・水分摂取量・バイタルの個別チェック表 を整備した。掃除、食べ物の残りの処分、手洗い後の消毒等衛生面の徹 底を図った。

₹ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)

・自己評価を行う前に勉強会を開いた。自己評価は職員全員で行った。 評価を通して自分たちを客観視でき、利用者の生活や事業所の取り組み を再確認した。

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)

| ・月2回開催しているが、出席者が少なく、現況報告で終わってしまっ | ている。日程調整が難しく、町、自治会からの出席がなく、家族と他市 | のケアマネージャーが出席している。今後は地域の住民や婦人会等幅広 | くメンバーを集め、地域密着の会議を工夫したいと事業所は計画中であ | る。

→ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目:第三者7,8)

点 ・本人、家族、管理者、職員で3カ月に一度面談を行い、ケアプランや 項 希望、意見、不安等について意見交換しているが、特に大きな苦情は出 目 ない。相談や苦情は期間を決めて、できるだけ早く回答している。家族 と職員間のコミュニケーションがよく取れるようになった。

。 |日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)

・自治会に加入して地域の清掃や祭りに参加したり、学校の廃品回収や 地域活動にも参加している。利用者の希望を募り老人会に参加してい る。地域との連携が十分取れているとは言いがたいが、ホームの岩盤浴 設備やカラオケを敬老会や婦人会に使ってもらったり、認知症理解のた めの講演会を開いて、地域に受け入れてもらう努力をしている。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1		理念に基づく運営 !念と共有			
1			・法人グループ全体の理念をそのまま事業所の理念としている。理念の中に地域重視が盛り込まれているので、理念を変更する必要はないとしている。		・法人グループの理念が個別の事業所の理念としても浸透し、職員にとっても立ち返る拠りどころになっているが、地域への密着の面をさらに検討できないか。
2		理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	・採用時に必ず理念の研修を行い、理解、納得を確認する。日々の取り組みでは、理念にそって利用者の意思や個性を活かすことに心がけている。ケース記録の検討や他の職員の助言を参考に理念の実践に取り組んでいる。		
2	. 地	域との支えあい			
3		事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地域 活動に参加し、地元の人々と交流するこ	・自治会に加入して、地域の清掃や祭りに参加したり、学校の廃品回収や地域活動に参加している。ホームの岩盤浴やカラオケを敬老会や婦人会に使ってもらったり、認知症理解のための講演会を開いて、地域に受け入れてもらう努力をしている。		
3	. 理	念を実践するための制度の理解と活用			
4		評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及 び第三者評価を実施する意義を理解し、 評価を活かして具体的な改善に取り組ん でいる	・自己評価を行う前に全員で勉強会をして、 全職員で自己評価をまとめた。評価を通し て、自分たちを客観的に振り返ることができ た。医療との関係の緊密化が課題と認識され た。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	FD (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5		運営推進会議では、利用者やサービス の実際、評価への取り組み状況等につい	・月2回開催しているが、出席者が少なく現 状報告で終わってしまっている。日程調整が 大変で、町、自治会の出席はない。他市のケ アマネジャーが出席している。家族は協力的 で、現在は家族との話し合いの場になってい る		・地域の事情で大変苦労されているが、地域住民や婦人会等にも働きかけて、出席者を増やし、事業所の協力者が地域に増える取り組みを期待したい。
6		市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町 とともにサービスの質の向上に取り組ん でいる	・町職員に事業所の実情を伝えている。高齢 者虐待の措置の一時受け入れを頼まれる等町 とも協働して課題解決を図っている。		
	1.理	念を実践するための体制			
7		事業所での利用者の暮らしぶりや健康 状態、金銭管理、職員の異動等につい	・週一回程度利用者の様子を家族等に電話や FAX,手紙で報告している。金銭管理は必要に 応じて報告、事業所からの連絡や行事案内等 は月一回定期的に行っている。来訪時には家 族も一緒に食事しながら、近況報告をしてい る。		
8		運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や 職員ならびに外部者へ表せる機会を設 け、それらを運営に反映させている	・3ヶ月に一回、利用者、家族、管理者、職員で面談を行い、ケアプランの説明や要望、 不安等話し合っている。相談、苦情は期日を 決めて返事している。		
9	18	職員による支援を受けられるように、異	・引継ぎは主任または管理者が受ける。異動、離職で利用者にダメージを与える心配は少ない。利用者と職員の関係作りは、担当者を決めているが、利用者の状況に合わせて必要な職員が対応している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)		
	人.	材の育成と支援		,			
		職員を育てる取り組み					
10		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・法人内研修は充実している。事業所の内部 研修は必要に応じてその都度開催し、職員の レベルアップを図っている。				
		同業者との交流を通じた向上					
11	20				・地域の事情はあるが、地域の同業者との 勉強会や交流はサービスの質の向上につな がるので、交流の機会を作ることが望まれ る。		
	.安	心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1	. 框	説から利用に至るまでの関係づくりとその対	拉応				
12		馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービス を利用するために、サービスをいきなり 開始するのではなく、職員や他の利用 者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家 族等と相談しながら工夫している	・利用開始前に、職員が利用者宅を訪問した り、ホームを見学に来てもらって、安心して 入居できるよう配慮している。馴染みのもの をできるだけ持ち込めるよう助言している。				
2	2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
13	27	te e +v +v + v	・本人の意思を尊重し、一緒に生活させてもらう気持ちで必要な介助をしている。職員は利用者から生活の知恵を受けている。利用者の自立を支援し、必要なことを見過ごさないよう見守っていくために、職員は具体的な問いかけに心がけている。				

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)			
١,	. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
	. –	·人ひとりの把握 						
14		思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、 意向の把握に努めている。困難な場合 は、本人本位に検討している	・本人に希望や意向を聞いたり、家族の話や 生活歴を参考に、本人本位の生活を支援して いる。慣れた家に近い環境作りを基本的に心 がけている。					
2	・よ	り良く暮らし続けるための介護計画の作成と	:見直し					
15		ケアのあり方について、本人、家族、必 要な関係者と話し合い、それぞれの意見	・本人、家族から過去の生活習慣についても 聞き取り、アセスメントを行い、利用者の気 持ちを大切にして、できることをつぶさない よう十分職員で話し合ってケアプランを立て ている。主治医の助言をもらうこともある。					
16		とともに、見直し以前に対応できない変	・定期見直しは6ヶ月毎。更新時、随時の見直しもある。普段の会話等で気づいたことや観察結果を記録に残しておいて、見直しの材料にしている。前回と今回の違いを本人と話し合って状態の変化の把握をする。					
3	. 多	機能性を活かした柔軟な支援						
17		事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々の要望 に応じて、事業所の多機能性を活かした 柔軟な支援をしている	・希望に応じて、併設のデイサービスへの参加や入浴も自由にできる。ふいの外出や帰宅希望などにも気持ち通り実現することを基本姿勢としている。病気入院中にも、職員は身の回りの世話のために、毎日病院を訪問している。					

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4	. よ	り良〈暮らし続けるための地域資源との協働	1		
		かかりつけ医の受診支援			
18	43	利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・これまでのかかりつけ医や協力医の受診は 医師の連携を密にし、本人の希望にそってい る。		
		重度化や終末期に向けた方針の共有	・入居時から、本人家族の意向を確認しつつ		
19	47	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	準備体制は整えている。医療的な対応が不十分であるため限界はあるが、看護師の指導の下、職員研修をさらに充実させたいと考えている。		
		その人らしい暮らしを続けるための日々の	D支援		
1	. ح	の人らしい暮らしの支援			
(1)-	-人ひとりの尊重		T	
		プライバシーの確保の徹底	・居室に入る時は、本人の了解をとることを		
20	50	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	原則としている。慣れからくる不用意、不適 切な発言をしないよう、職員間で常に注意し 合っている。		
		日々のその人らしい暮らし	・その人にとっての自然な動き、ペースを大		
21		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事にしつつ、出来るだけ謙虚な気持ちで向き合う努力をしている。日常と異なった様子が見られた場合、その原因を見極めさりげなく戻すよう努めている。		

		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	ED (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) 7	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生	生活の支援		
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利用 者と職員が一緒に準備や食事、片付けを している	・利用者の好みを重視したメニューで、調理 は職員が主に携わっている。メニューの選択 もでき、思い思いの場所で食べたい時に食事 している。		・調理や下ごしらえなど利用者が出来ることを見つけ出し、利用者が積極的に関われるような工夫が望まれる。
23			・いつでも入浴できるが、入浴日、時間は本 人の希望で行っている。入浴を好まぬ人に は、併設の多機能風呂や外部の銭湯にも誘導 することもある。		
(3) ₹	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生	生活の支援		
24		役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせる ように、一人ひとりの生活歴や力を活か した役割、楽しみごと、気晴らしの支援 をしている	りつしいる。音理、編の初、人の敗少、調理 笠なっに今もサイキゼーテいる		
		とりのその日の希望にそって、戸外に出 かけられるよう支援している	・自ら外に出られる人や散歩等習慣として気 軽に外出される人もいるが、それ以外の人へ の声かけは充分されているとはいいがたい。		・利用者の意思表示の有無に関わらず、外 に出る機会を促す声かけの工夫が望まれ る。
(4) 3	マ心と安全を支える支援 		1	
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・日中は鍵はかけていない。夜間の防犯上の み施錠している。		

第	白		取り組みの事実	印	取り組みを期待したい内容
第三者	自己	項目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組みを期 待したい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
27		災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・避難訓練は、職員と一部の利用者が参加した。近隣で防災の青年団が組織されており、 安全対策に協力しあっている。		・車椅子利用者の移動方法や、職員間での 連携方法など、さらに検討が求められる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
		栄養摂取や水分確保の支援			
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・飲食は個人の自由であるが、摂取量は疾患 等で管理の必要な人には、個別に把握対応し ている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり					
29		居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	・リビングには、ソファ、たたみ、幾種類かの椅子が配置され、好きな場所で食事ができ、テレビやビデオも思い思いに見れるよう配置がされている。玄関ロビーも居心地の良いスペースで椅子が置かれ、来訪者が落ち着ける雰囲気作りをしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者 や家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのものを活かして、居心地よく過 ごせるような工夫をしている	・自宅で使用していた馴染みの物に囲まれた 居室作りをしている人など、個々に工夫され ている様子がうかがわれる。鍵を持ち自己管 理されている人もいる。		

は、重点項目。